

平成24年度施政方針関係施策（事業）の実績

平成24年度施政方針に掲げられた事業の取り組み状況・実績は次のとおりです。

上半期進捗：○実施済又は実施中、△一部実施又は年度内実施予定、×未実施又は検討中
 年度末実績：○実施済、△一部実施済、×未実施

◆保健福祉施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①子ども医療費助成	<p>小学校6年生まで町独自に助成を拡充していますが、さらに今年4月診療分から中学生の入院費を助成対象として拡大します。自己負担額は従来どおり1回200円として、子どもの保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p>	<p>中学校3年生（中学生の入院費を除く）までを対象に、入院・通院・調剤医療費 53,036千円を助成しました。 平成24年12月診療分から、全対象者を現物給付方式で助成しました。 [対象児童] ・0歳から小学校6年生まで：入院・通院・調剤医療費 ・中学校1年生から3年生まで：入院医療費</p>	○	○	いづも課
②保育の充実	<p>待機児童対策として、引き続き私立保育園への保育委託を行うとともに、子育て中の家庭の「困った」を応援するため、中央保育園では満2歳から、岩橋保育園及び私立保育園では満6か月からを対象に一時保育を行います。そのほか、町立保育園での英語指導の実施や岩橋保育園の園庭を拡充するなど保育の質の向上並びに保育環境の整備を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童対策 私立保育園への保育委託 一時保育の利用実績（3月末現在） 中央保育園 2人/日（2歳以上） 113人 岩橋保育園 3人/日（6ヶ月以上） 106人 英語指導の実施 対象 3～5歳児 実施方法 6月から毎週、年齢ごと1回15分程度 岩橋保育園の園庭拡充 園庭用地を取得し、園庭を整備しました。 	○	○	いづも課
③放課後子ども事業の推進	<p>学校体育館や校庭の活用と地域の方々の協力により、様々な体験を通して児童の健全育成を図ります。また、放課後児童クラブは、民設補助の「酒々井児童クラブ」と公設委託の酒々井小学校「しすいっ子クラブ」、大室台小学校「大（おお）ちゃん学童クラブ」の3クラブがあり、円滑な運営が図れるよう努めてまいります。なお、ひとり親家庭への支援策として、放課後児童クラブ利用料の助成を引き続き行います。</p>	<p>放課後子ども教室は、酒々井小学校28日、大室台小学校24日開催し、1日当たり平均して、それぞれ28人、66人の児童の参加がありました。 放課後児童クラブの平均登録児童数は、「酒々井小学校学童クラブ」40人、「大室台小学校学童クラブ」60人、「酒々井児童クラブ」67人でした。</p>	○	○	いづも課

④母子保健事業の充実	<p>妊婦健診、マタニティクラス、心理発達相談など15の事業メニューにより子育て支援に取り組めます。特に、新生児訪問指導は、保健師等が新生児のいる全部の家庭を訪問し、育児相談等、母親への支援を行い、育児不安の解消と虐待の防止に努めます。また、新規事業として、保健センターに「ことばの教室」を開設し、就学前までの子どもを対象に個別の相談と指導を行うことでことばの発達を促します。また、妊娠はするものの流産を繰り返してしまうなどの「不育症」で治療を受けているご夫婦に治療費を助成し、経済的負担を軽減します。</p>	<p>母子健康手帳交付140件 新生児訪問指導 116件 マタニティクラス実24人延べ60人 ママパパクラス 実22組 延べ43人 親子ピカピカ歯みがき教室 58人 乳児相談 4ヶ月児 対象者135人 受診者114人 (受診率84.4%) 10ヶ月児 対象者136人 受診者104人 (受診率76.5%) 1歳6か月児健診 対象者163人 受診者147人 (90.2%) 6回実施 3歳児健診 対象者154人 受診者123人 (79.9%) 6回実施 ゆりかごルーム 親460人子497人 30回実施 幼児健診事後指導 154組 12回実施 心理発達相談12回実施 延べ26人 ことばの教室22回実施 延べ101人 ブックスタート 120人</p>	○	○	健康福祉課
⑤高齢者福祉施策の充実	<p>高齢者を地域全体で支える「ともに支え合い・助け合う 地域の手」災害時要援護者名簿登録制度を創設し、特に、75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯を対象に、平常時の「見守り」や「声かけ」、非常時の避難支援などを行い、高齢者が安心して生活ができる地域づくりに取り組んでまいります。また、新規事業で、かかりつけ医療機関や持病など救急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットの配布や家具等の転倒防止器具取付費の一部を補助するなど高齢者の安全にも配慮します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿登録制度 回覧で登録者を募集し、併せて、町で把握している75歳以上の独居等の方を対象に民生児童委員の協力により登録を進めました。256名登録。 ・救急医療情報キットの配付 広報で制度の周知を図るとともに、11月に75歳以上の高齢者等に配付しました。185名に配付。 ・家具等転倒防止器具取付費補助金 広報で制度の周知を図り、利用者を募集しました。1件の利用。 	○	○	健康福祉課
⑥生きがいデイサービス	<p>比較的元気な高齢者に対して、生活の質の向上、とじこもりによる社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図り、生きがいのある生活を送ることで要介護状態への移行を予防することを目的に、隣保館と社会福祉協議会を会場に週3回の「生きがいデイサービス事業」を行い、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを推進してまいります。</p>	<p>隣保館で水・金曜日、社会福祉協議会で火曜日、週3回のデイサービスを実施しました。 計144日 延べ2,883人参加</p>	○	○	健康福祉課
⑦心の健康づくりの推進	<p>保健センターにおいて、老々介護など介護者の精神的、身体的な負担や悩みごと相談などを支援していく「心の健康づくり」を推進し、地域包括支援センターと連携を図りながら引き続き取り組み、介護者を支援します。</p>	<p>地域包括支援センターにおいて認知症の理解と高齢者の病気及びうつ病の診断と治療をテーマに「在宅介護かけはしの会」を開催しました。 第1回…4月27日参加者53名 第2回…7月30日参加者35名 第3回…10月27日参加者56名 第4回…11月20日参加者30名 第5回…3月19日参加者72名</p>	○	○	健康福祉課
⑧介護ボランティアの導入	<p>高齢者の介護支援ボランティア活動による地域貢献を積極的に支援することで、高齢者自身の健康増進を図り、介護予防を推進するため、ボランティア活動を行う高齢者に対してポイントを付与する「介護予防支援ボランティア制度」の導入を進めます。</p>	<p>介護支援ボランティア検討委員会を3回開催し、酒々井町介護支援ボランティア制度実施要綱を制定しました。平成25年度からの事業開始への流れを定めました。 第1回検討委員会 8月 3日 第2回検討委員会 9月24日 第3回検討委員会 11月 7日</p>	○	○	健康福祉課

<p>⑨介護予防の推進</p>	<p>介護予防の普及・啓発のため、介護予防の運動を中心としたチャレンジ教室を年3地区で実施するほか、地域の自主的な介護予防活動サークルに講師を派遣するなど各種教室の開催を通して、介護予防を図ります。また、高齢者の総合的な支援を行う、地域包括支援センターの円滑な運営を図るため、連携を密にして取り組み、住み慣れた地域で生活を送れるよう支援します。</p>	<p>健康体操 全7回×3 実60人 延べ336人 大人のためのバレエ教室 全6回 実23名 延べ115人 ハワイアン・フラ 全12回 実21人 延べ207人 ソフトエクササイズ 全9回×2 実31人 延べ218人 健康太極拳 全6回 実25人 延べ119人</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑩障害者(児)福祉施策の推進</p>	<p>障害のある方が地域社会の一員として豊かな生活を送れるよう、障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指し、障害者の生活を支援する障害者地域生活支援事業をはじめとした各種保健福祉サービスの一層の推進を図ります。</p>	<p>障害者自立支援法に基づく、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具給付、地域生活支援事業を実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑪健康づくり施策の推進</p>	<p>健康増進事業として、各種検診、健康教育、健康相談等の事業を行います。なお、特定年齢の方に対する乳がん、子宮がん検診に加え、大腸がん検診の無料検診を独自に継続して行います。さらに、小学校5年生と保護者を対象とした「いきいきすいっ子教室」を開催し、子どもの時からの生活習慣病予防の啓発に取り組みます。</p>	<p>健康手帳の配布354冊 健康教育・・・ヘルスアップセミナー10回 実17人 延べ146人 健康相談・・・来所者 63人、電話 24人 乳がん検診 集団検診9日間開催 視触診511人 MMG588人 エコー76人 個別検診MMG26人 合計1,201人 子宮がん検診 集団検診3日間開催 674人 個別検診114人 合計788人 いきいきすいっ子教室 酒々井80人 大室台100人 胃がん・1,388人 大腸がん・2,001人 肺がん・1,858人 肝炎ウイルス・148人</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑫予防接種事業の推進</p>	<p>中学1年生から高校1年生の女子に子宮頸がんの予防接種、また、4歳までの乳幼児にヒブ・小児肺炎球菌の無料接種を継続して実施します。さらに、65歳以上の季節性インフルエンザワクチンや75歳以上の肺炎球菌ワクチンの接種希望者への助成額を一部拡大するなど、個人の健康管理と感染症の流行を防止します。</p>	<p>子宮頸がんワクチン 223件 ヒブ 448件 小児肺炎球菌 467件 高齢者肺炎球菌 42件</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑬食育の推進</p>	<p>酒々井町産の食材を使い地産地消を学ぶ「親子ふれあい旬の手づくりクッキング」、健康づくりのための食育を学ぶ「親子ヘルシー教室」を健康推進員と協働で実施します。また、町で独自に作成した食育絵本を活用し、継続して知識の普及、啓発を行います。</p>	<p>食育絵本の配布 3歳児健康診査時個別栄養相談 6回 実施123名 食育講習会 4回実施 参加者 70名 親子ヘルシー教室 2回実施 参加者 39名 旬の親子ふれあい食育教室 参加者 19名</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>

◆教育文化施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①特色ある幼児教育の推進	<p>幼児期における教育の重要性を考え、豊かで特色ある幼児教育の推進を図るため、町独自に私立幼稚園に補助金を交付します。また、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の経済的負担を軽減するために、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。</p>	<p>私立幼稚園就園奨励費補助金については、町内外の幼稚園9園に対し、園児293人分、補助金額30,709千円を交付しました。 私立幼稚園運営費及び教材費補助金については、町内2園に対し運営費各20万円、教材費256千円（256人分）を補助しました。</p>	○	○	こども課
②学校教育の充実	<p>（1）児童・生徒の読書習慣の形成のため、町公共図書館と学校図書館との連携により、学校図書館機能の充実と活用のための支援を、町独自の事業として継続して推進します。また、特色ある教育活動を積極的に推進するため、「小・中学校スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」のほか、新たに、町教育委員会が指定した研究指定校に対する「人権・同和教育研究活動補助事業」などに取り組みます。</p>	<p>・学校図書館支援事業は、町公共図書館との連携により、学校図書館の充実が図れました。月間、児童・生徒一人当たりの貸出冊数が、平成23年度が3.3冊、今年度は3.8冊と増えています。 ・「小・中学校スクールサポート事業」及び「教職員の特色ある教育活動支援事業」の実施により、各学校の実態に応じたきめ細かな教育活動が実施できました。特に、「教職員の特色ある教育活動支援事業」については、今年度4件の研究申請があり、各校の教員が主体的に授業改善を進めようとしていることが伺え、そのうち3件の研究をサポートすることができました。</p>	○	○	学校教育課
	<p>（2）外国語活動において、ALT（外国語指導助手）を活用し、ネイティブな英語にふれ、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の学力向上を図ってまいります。平成24年度からは、保育園から中学校まで一貫した英語教育を開始するとともに、国際交流派遣事業として中学生を海外へ派遣し、ホームステイや現地校での体験学習を通して異文化理解を深め、国際化に対応できる人材を育成します。</p>	<p>・小学校5・6年の外国語活動の時間においては、各クラス週1回（年間35回）ずつ、また中学校においては、英語科で各クラス5回及び総合的な学習の時間において各クラス2回、ALT（外国語指導助手）の活用を図った授業を行うことができました。ネイティブの英語にふれる機会の確保と国際理解教育の推進を図ることができました。また、中学校では国際交流派遣事業として12名の生徒をオーストラリアに派遣し、ホームステイや現地校で体験活動をするなど異文化理解を深めることができました。</p>	○	○	学校教育課
	<p>（3）不登校児童・生徒に学校への復帰を支援するため、適応指導教室「ふれあいルーム」を運営します。</p>	<p>・適応指導教室「ふれあいルーム」と学校の連携により、ふれあいルームに通えるようになるだけでなく、学校への登校回数を増やすことが出来ました。また、学習指導とともに進路指導にも力を注いだ結果、年度末には中学3年生が卒業後の進路を決定することができました。</p>	○	○	学校教育課
③教育環境の整備	<p>平成24年度から予定していた小中学校エアコン設置事業について、国庫財源の有効利用が可能となったことから平成23年度に前倒し、補正予算をお願いして今年の夏休み期間に集中して実施することとしています。そのほか、子どもたちが安全で健やかに育つ環境整備を推進します。</p>	<p>[エアコン・室内機設置数] 酒々井小学校 106台設置（50部屋） 大室台小学校 88台設置（42部屋） 酒々井中学校 106台設置（56部屋）</p>	○	○	こども課

④文化財保存事業の実施	<p>「本佐倉城跡整備基本設計書」に基づき、史跡の保存・活用のための入口広場整備に係る調査や見学会などの周知事業を実施します。また、江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並の保存整備を行い、その結果、県道の歩行者空間の確保を併せて図ります。</p>	<p>平成24年度で予定している入口広場の用地購入2件、物件補償2件、登記が完了しました。(進捗率100%) まちな顔づくり推進事業では、補償契約を締結し、島田長右衛門家及び島田政五郎家の文化財登録が12月21日に完了しました。また、環境整備として、古民家前の土系舗装、案内板の設置が完了しました。(進捗率100%)</p>	○	○	生涯学習課
⑤史跡ウォーキングの実施	<p>町内に数多く所在する貴重な文化財や豊かな自然環境など、町内外へ向けての情報発信とともに、町の観光振興、交流人口の増加策の一つとして、引き続きボランティアガイドとの協働で取り組みます。</p>	<p>10月21日(日)開催 一般参加者数101名(うち小学生6名)</p> <p>9/22 第1回実行委員会開催 10/17 第2回実行委員会開催 11/7 第3回実行委員会開催 参加申込受付10月1日(月)～10月12日(金)</p>	○	○	生涯学習課
⑥生涯学習の推進	<p>各種スポーツ教室や体験教室などを通じて町民の文化・スポーツ活動のさらなる活性化を図るとともに、人生の節目を祝福する「新成人のつどい」や60歳を迎える方々に対して「盛年式」を開催し、生涯にわたり学び続けられる環境づくりと住民参加のまちづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員による、スポーツに取り組むきっかけづくりを、健康体づくり推進員によるウォーキングを主体とした体づくりを、体育協会による各種スポーツ大会を開催し、延べ3,630名(前年度3,270人、360人増加)の参加者がありました。 ・新成人のつどい(成人式)1月13日(日)ﾌﾟﾘﾐｰﾙ酒々井 参加新成人131人 ・親子たこづくり教室1月20日(日)大室台小体育館 31人 ・親子たこあげ大会 1月27日(日)総合公園多目的広場 30人 ・盛年式 2月17日(日) 参加対象者56人(参加率16.5%) 	△	○	生涯学習課
⑦学校支援の促進	<p>これまで培った知識や経験を子どもたちに伝承する地域のボランティアと学校との連携をさらに密接なものとするため、新たに「学校教育支援促進事業」として、調整役となるコーディネーターとその方々の活動拠点を大室台小学校に配置し、学校活動の支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ボランティア(ミシン、畑の整備、昔遊び体験、和太鼓クラブの指導)14回 延べ123人 ・環境整備ボランティア(英語の教材作成、ビオトープ整備)31回 延べ102人 ・見守り安全 204回 延べ2040人 ・その他(読み聞かせ) 40回 延べ200人 	○	○	生涯学習課

◆生活環境施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①消防・防災事業の充実	<p>先の大震災等の教訓を踏まえ、町地域防災計画の見直しを行うとともに、防災ラジオ及び災害用備蓄品の整備を図ります。また、地域での重要な役割を担う消防団に配備している「小型動力ポンプ積載車」と「小型動力ポンプ」をそれぞれ2台ずつ更新します。</p>	<p>① 平成25年2月に町防災会議を開催し、地域防災計画の修正を行いました。 ② 防災ラジオについては、希望者に対し有償により配布し、世帯員全員が75歳以上の高齢者世帯に対しては、無償により配布を行いました。 ③ 第12分団（飯積）の小型動力ポンプ、第7分団（尾上）の小型動力ポンプ積載車、第13分団（伊篠新田）の小型動力ポンプ及び積載車の更新を行いました。</p>	△	○	総務課
②中川流域防災事業	<p>被災地域の水害リスクの軽減を図り、安全安心な生活基盤を確保するため、調節池の整備推進に向けて引き続き議員の皆様のご理解が得られるよう説明等を行います。また、中川流域の地域特性に即した流出抑制対策の着実な実行のため、流域住民の皆様方と話し合いを進めながら、雨水条例等の制度設計の検討を行います。</p>	<p>現在、水害への緊急対策として、中川の護岸のかさ上げと排水ポンプを設置し、大雨時の内水排除を行っています。今後も最良な手法である調節池の整備のため、引き続き、議会・住民の理解が得られるよう説明等を行ってまいります。</p>	×	×	まちづくり課
③交通安全・防犯事業の推進	<p>自治会をはじめ、ボランティア活動団体との協働による防犯対策を推進し、地域のパトロールなどを通じて防犯や交通安全に対する住民意識の高揚を図ります。</p>	<p>① 防犯事業は、佐倉警察署、防犯組合連合会、防犯団体等と協働し、防犯キャンペーン等実施しました。 ② 交通安全対策事業は、佐倉交通安全協会酒々井支部、佐倉警察署と協力し、春・秋2回の街頭キャンペーンを実施するとともに、信号機の設置や交通違反の取り締まり等について佐倉警察署に要望しました。また、注意看板等の設置を行いました。</p>	○	○	総務課
④環境施策の推進	<p>地球環境を守り未来に引き継ぐために、地球温暖化の防止及び地域における再生可能エネルギーの導入を促進するため、個人の住宅用太陽光発電システム設置に対して補助するとともに、更なる施策の展開を検討開始するなど、町の環境対策を徹底し、「環境家計簿」の普及に努めます。</p>	<p>住宅用太陽光発電システムを設置するものに対し補助金を交付しました。 26基分（3,499千円） 「環境家計簿」については、直近の排出係数データを更新し、ホームページ等で普及に努めました。</p>	○	○	経済環境課

◆都市基盤施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①まちづくり施策の推進	<p>（１）地域活性化事業として、平成25年春に開設する（仮称）酒々井インターチェンジへのアクセス道路に係る調査、工事を行います。また、総合計画を踏まえ、町の将来都市像及び土地利用を明らかにするため、都市マスタープランの見直しを行います。</p> <p>（２）平成24年度より木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、耐震診断及び耐震改修工事に係る費用の一部助成を開始するとともに、町民の生活環境の向上、町内産業の活性化と雇用創出のため、雨水貯留、浸透対策を踏まえた、住宅リフォーム補助事業を引き続き行います。</p>	<p>【アクセス道路整備】（仮）酒々井インターチェンジアクセス道路の整備については、適切に工事が完了し、4月5日に開通予定です。</p> <p>【都市計画マスタープランの見直し】総合計画及び昨年度に取りまとめたまちづくりの方針（骨子案）に基づき、具体的なまちづくりの方針と将来道路網の見直し検討を行っていますが、将来道路網の検討に時間を要しており、平成25年度も継続して都市計画マスタープランの策定を行います。</p> <p>【耐震診断費補助】14件、91万円の交付申請があり、予算執行率は約99.9%です。</p> <p>【耐震改修工事費補助】9件、448万円の交付申請があり、予算執行率は約100%です。</p> <p>【住宅リフォーム補助】42件、335万4千円の交付申請があり、予算執行率は約96.5%です。</p>	○	○	まちづくり課
②町道の整備	<p>町道5路線の道路改良を行うため、測量、設計、調査、工事、用地購入等を実施し、また、東関東自動車道に架かる2橋の耐震対策工事を行います。さらに、交通安全施設や防犯街灯の整備、維持管理を行うほか、道路交通の安全性を確保するため、町道の維持・管理に努めます。</p>	<p>町道5路線のうち4路線については、それぞれ用地買収を進めています。</p> <p>東関東自動車道に架かる2橋（南酒々井橋、平台橋）の耐震対策工事は、NEXCO東日本に委託しており、平成25年度に繰越し実施しています。</p> <p>また、外部委託していた町道の維持に係る日常管理については、道路補修等101箇所、道路パトロール33回の実績がありました。</p>	○	○	まちづくり課
③公園の再生整備	<p>都市公園の防災機能整備として、地震等の大規模災害が発生した場合に、隣接する役場のほか、各施設との連携や機能分担により防災拠点の一翼を担う防災設備を備えた公園として、中央台公園を再生整備してまいります。</p>	<p>今年度事業として、防災パーゴラ1基、災害トイレ5基、かまどベンチ3基、指揮台1、広場整備等を実施しました。</p>	△	○	まちづくり課

◆産業経済施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①商工業の振興	地域の活性化と若手後継者育成及び商工業の振興を図るための事業を行う町商工会に対して、引き続き補助金を交付します。	町の商工業の健全育成を図ることを目的として、商工会が行う経営改善普及事業等に対して補助金を交付しました。（3,800,000円） 商工会青年部・女性部を中心に実施する商工会夏まつりの実施やふるさとまつり等での協賛事業の実施に伴う運営費・備品購入費、さらには、情報収集力強化のためのパソコン研修会や行政及び関係機関等の実施する中小企業支援策等の有効活用についての調査研究、情報提供に要する費用について、補助金を交付しました。（450,000円）	○	○	経済環境課
②農業施策の推進	東日本大震災で被害を受けた用水施設の災害復旧事業に係る費用を負担します。また、国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金の一部を基金に積み立て、将来負担の軽減を図ります。	東日本大震災による災害復旧事業は、事業実施者の印旛沼土地改良区と復旧事業費負担金協定を締結し、国庫補助事業分に係る町負担割合10%、土地改良区が単独で行う災害復旧事業分に係る町負担割合30%を負担しました。 また、国営印旛沼二期土地改良事業は、平成22年度から平成31年度まで毎年2千万円の基金を積み立てることになっていましたが、当該事業が震災復興特別交付税の対象事業となったことから、平成24年度の基金積み立ては見送ることとし、平成25年度に改めて積み立てます。	△	○	経済環境課
③観光施策の推進	観光資源の発掘や国内外の観光客の誘致のための基盤づくりについて調査研究するとともに、既存の観光資源については、町のホームページをはじめ、観光マップの増刷などにより情報発信を強化します。	平成25年4月19日開業の酒々井プレミアム・アウトレットフードコート内に、酒々井町や周辺の観光スポット情報を発信する「酒々井コミュニケーションセンター」を設置し、来客者に対して、アウトレットだけではなく、人・自然・歴史が調和した活力あふれるまち「酒々井」の魅力を多く知って頂くため、観光情報推進員による案内や、町内を周遊して頂くための観光物産情報の提供を予定しており、町HPの観光情報の更新等を随時行うと共に補正対応によるJR自由通路案内板の張替えや酒々井タウンガイドの増刷（加筆修正含む）を1万部行いました。	○	○	経済環境課
④酒々井ブランドの創出	地域産業の発展、観光振興及び町のイメージアップを図るため、地域資源を活用した地域ブランド商品を「酒々井ブランド」として販売促進するための調査研究を行い、町のPR活動に積極的に取り組む事業者等を支援します。	①「酒々井ブランド創出会議」2回開催しました。（H24年10月、H25年3月） ②酒々井ブランド提案選定商品をふるさとまつりで紹介と試食（アンケート依頼） 飲食加工等3点 ③ふるさとまつり評価、アンケートをもとにブランド創出会議へ報告しました。 ④町内飲食・食品関係事業所に呼びかけ「酒々井町グルメマップ」を編集・発行。25事業所の協賛を頂き発行しました。（3万部） ⑤他「酒々井町タウンガイド」パンフを作成しました。（1万部） ⑥上記パンフについて酒々井アウトレット内コミュニケーションセンターに配置（予定）。 ⑦本年度2月中に協力事業所及び製造業者との協議がまとまり提案品3点の商品（炸鸡、力味噌、ゆずマールト）の製造と試験販売が実現しました。	○	○	住民協働課

◆地域社会と行財政施策

H24施策（事業）名	H24施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度未実績	担当課																																														
①住民参加・協働施策の推進	<p>高齢者のとじこもりの防止や話し合い、情報発信等、地域の皆さんが互いに知り合い、交流を深めることのできる場となるよう公益活動の拠点として「井戸端」の運営・充実を図ります。また、“地域のお困りごと”を地域の皆さんと町との協働により解決していくため、地域住民が主体となって実施する都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行うなど、さらに住民公益活動を支援します。</p>	<p>「井戸端」利用実績（延べ）</p> <table border="1" data-bbox="758 347 1260 526"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td> <td>19件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> <td>18件</td> <td>14件</td> <td>19件</td> <td>96件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>165人</td> <td>120人</td> <td>134人</td> <td>163人</td> <td>112人</td> <td>188人</td> <td>882人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>244人</td> <td>247人</td> <td>249人</td> <td>221人</td> <td>247人</td> <td>282人</td> <td>1490人</td> </tr> <tr> <td>※再掲 60歳以上</td> <td>192人</td> <td>201人</td> <td>166人</td> <td>153人</td> <td>169人</td> <td>213人</td> <td>1094人</td> </tr> </tbody> </table> <p>公園等愛護活動推進事業認定団体</p> <table border="1" data-bbox="758 548 1260 577"> <tr> <td>実施団体</td> <td>10団体</td> <td>実施公園等</td> <td>11箇所</td> </tr> </table> <p>資材等支給事業実施実績</p> <table border="1" data-bbox="758 600 1260 629"> <tr> <td>実施予定地区</td> <td>2地区実施 / 4地区協議中</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	団体	19件	12件	14件	18件	14件	19件	96件		165人	120人	134人	163人	112人	188人	882人	個人	244人	247人	249人	221人	247人	282人	1490人	※再掲 60歳以上	192人	201人	166人	153人	169人	213人	1094人	実施団体	10団体	実施公園等	11箇所	実施予定地区	2地区実施 / 4地区協議中	○	○	住民協働課
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計																																												
団体	19件	12件	14件	18件	14件	19件	96件																																												
	165人	120人	134人	163人	112人	188人	882人																																												
個人	244人	247人	249人	221人	247人	282人	1490人																																												
※再掲 60歳以上	192人	201人	166人	153人	169人	213人	1094人																																												
実施団体	10団体	実施公園等	11箇所																																																
実施予定地区	2地区実施 / 4地区協議中																																																		
②総合計画の推進	<p>行政運営にあっては、平成24年度からスタートする第5次酒々井町総合計画の推進役となるマスコットキャラクターを作成し、町民の郷土愛を育むとともに町のイメージアップを図ります。</p>	<p>町マスコットキャラクターデザインに全国各地から322作品（うち町内164作品）の応募があり、8月21日のマスコットキャラクター選考委員会により10作品に絞り込みました。</p> <p>その10作品について、10月1日から14日まで、小中学校の児童・生徒をはじめ、町民による人気投票を実施し、選考委員会での最終選考の後、11月18日にマスコットキャラクターを「井戸っこ（しすいちゃん）」に決定しました。</p> <p>井戸っこ（しすいちゃん）は、広報やホームページ等で周知を図るとともに、キャラクター入りクリアファイルを2月回覧で全戸配付しました。</p> <p>また、3月14日には、保育園児参加による着ぐるみのお披露目及び特別住民票の交付式を行いました。</p>	○	○	経営企画課																																														
③情報管理と情報発信力の強化	<p>情報管理の施策は、高度情報化社会に対応した効率的な行政サービス向上のため、庁内のICT化を図るとともに、町独自の特性や強みを核とし、「酒々井」の町名を世界ブランドとする足掛かりとして、町ホームページの外国語への対応を含め、町の内外に広く情報発信するための体制強化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの外国語への対応（英・中・韓の3ヶ国語） 100% ・各課において迅速に情報発信するためのCMS（コンテンツマネジメントシステム）の構築 85% 	○	○	総務課																																														
④税の確保	<p>平成27年度の評価替えに向け、3力年の継続事業として宅地評価の見直しを行います。また、経年異動による「地番図」並びに「家屋図」の修正を行い、課税の適正化と事務の効率化を図ります。</p>	<p>土地評価においては、法務局からの税通による地番図の修正、画地の見直し（今後も継続して実施）、経年の課税基礎資料による家屋図の修正を実施しました。進捗状況：100%</p>	○	○	税務課																																														
⑤庁舎耐震化	<p>様々な行政活動の拠点として、また、災害時の防災拠点として重要となる役場中央庁舎について、施設や設備の被害を最小限に抑えるため、先に実施した耐震診断に基づく補強とともに、利便性等の向上を図るためのエレベーター設置に向けた設計業務を行い、役場庁舎改修事業を進めます。</p>	<p>耐震工事及び大規模改修工事の実設計は、耐震補強に係る判定委員会の審査が長期に及んだため、設計期間を延長して積算を行いました。委託した業務内容は100%完了いたしました。</p> <p>なお、当該設計内容に基づき耐震補強を実施した場合、重要な防災拠点として国土交通省が定める1s指標値0.9をすべて上回ることであります。</p>	○	○	財政課																																														